

## 学びの改革実践校 取組紹介

学びの改革支援課

### ■ 軽井沢町立軽井沢西部小学校の取組

#### ～「自律的な学び手」を育てる授業づくり～

軽井沢西部小学校では、「じぶんでかんがえ、みんなでつくる」という学校教育目標のもと、「自律的な学び手」を育てる授業づくりに取り組んでいる。

その一つとして、高学年を中心に、算数の授業で、個々に学習の計画を立て、ゴールまでの見通しをもって学習を進める「自由進度学習」に取り組んでいる。授業の終わりには、一人一人が学習の進め方の振り返りを行い、計画の修正をして、次の時間の見通しをもてるようにしている。教師は、児童が、自らの学習を調整しながら学んでいくことができるように、例えば、学びに行き詰まりを感じている児童にアドバイスをするなど、一人一人に寄り添う支援を行っている。

また、授業改善を進めるため、職員の研修として、軽井沢風越学園の岩瀬校長を講師に招き、「自律」をテーマに職員で対話を行う研修会や、子供の興味・関心を軸にした作文指導についてのワークショップ等を行ってきた。その際、柔らかな雰囲気の中で、教員相互に考えを述べ合うことを大切にするることによって、職員の同僚性も高められるようにしている。

その結果、互いの授業を日常的に見合い、授業後に、児童一人一人の学びの姿を基に感想を語り合うなど、教師としての力量向上を図る職員の関係がつけられてきている。



1つのテーマについて語り合う職員研修

### ■ 須坂市立東中学校の取組

#### ～自立した学習者を育てる自由進度学習の実践～

昨年度までは、主に ICT の活用方法について研究を進めてきた。さらに今年度は、目指す生徒像を「自立した学習者」とし、個別最適な学びの視点に立った、自由進度学習について実践を積み重ねてきている。校内の研究体制としては、2教科合同の小チームを編成し、各チームに推進役となるメンターリーダーを置いて、単元構想の検討、授業参観、研究会等を行っている。

1学年、技術科「材料と加工」では、自由進度学習で木材加工に取り組んだ。くぎ打ちの練習スペースを設けたり、作業方法を確認するための動画を用意したりすることで、一人一人が自分のペースで製作を進めていくことができた。また、学習の記録をクラウドに蓄積できるようにし、各自が学びを振り返りながら、計画を調整できるようにした。単元の終末には、追究のテーマであった「私が考える製品の価値とは何か」について発表し合い、中にはクラウドを活用して友との意見交換を行う姿も見られた。

全校生徒に取った学校アンケートの、自由進度学習についての設問には、「小学校と違って、問題も難しくなったけれど、最後まで取り組み、自分で解くことができた」「わからない問題でも諦めず、過去に習ったことを使って解けるかなど考えながら粘り強く取り組むことができた」といった回答があった。自由進度学習を通して、生徒自身が学びを振り返り、自己の成長を自覚する姿から、「自立した学習者」に向けた成長がうかがえる。



過去に遡って設計図を確認

動画を見て手順を考える

釘打ちの練習

糸鋸で材料を切断

自分のペースで製作を進める生徒の様子